

要 覧

平成28年度



中央図書館



西部図書館



東部図書館

千葉県立中央図書館
千葉県立西部図書館
千葉県立東部図書館

◇◇ 目 次 ◇◇

I 千葉県立図書館運営方針

基本方針	1
平成28年度事業計画	2

II 平成27年度事業報告 13

III 資料編

1 沿革	25
2 組織・職員	33
3 施設の概要	34
[中央図書館 34 西部図書館 40 東部図書館 44]	
4 予算	48
5 平成27年度統計資料	49
6 図書館利用規則	61
7 県内公立図書館設置状況	63
8 県内公共図書館・図書館未設置市町村読書施設一覧	64
9 利用案内	67
10 交通案内	67

I 千葉県立図書館運営方針

県立図書館は、法令及び「千葉県立図書館の今後の在り方」等を踏まえ、県民の生涯にわたる多様な学習要求に応え、県民が等しく図書館サービスを楽しみ、県民文化の向上に寄与するよう、次の基本方針に基づき、事業計画及び図書館サービス目標を定める。

基本方針

- 1 県立図書館は、中央、西部及び東部図書館の3館が一体となって県民の多様化した図書館サービスへの要求に応えるものとし、県内公共図書館、高等学校図書館及び大学図書館等との連携を図りながら、県内図書館サービス全体の向上を図るものとする。
- 2 県立図書館は、県内の中核的調査研究図書館としての機能を発揮するものとし、必要な資料収集及びレファレンス機能の向上に努めるとともに、本県関係資料の最終保存館としての機能の強化を図る。
- 3 県立図書館は、公共図書館ネットワークの中心館としての機能を発揮するものとし、市町村立図書館の求めに応じた援助や学校図書館との連携強化等を図る。
- 4 県立図書館は、図書館未設置市町村の読書施設に対し、補完サービスを行うとともに、当該市町村の求めに応じた必要な援助を行う。
- 5 県立図書館は、県内公共図書館職員の資質向上のための研修の充実に努める。
- 6 県立図書館は、「『千葉県立図書館の今後の在り方』行動計画」に示された数値目標の達成に努めるとともに、達成状況の自己点検及び第三者評価を行う。

平成28年度事業計画

県立図書館は、県立図書館運営方針及び平成24年度に策定した『「千葉県立図書館の今後の在り方」行動計画』に基づき、中央図書館、西部図書館及び東部図書館が密接に連携を図りながら、次の重点事業を中心に、図書館サービスの実施、充実を図る。

【重点事業】

※ 〈 〉 以外は県立3館で実施

1 市町村立図書館充実のための支援強化

- ・ 資料搬送ネットワークの維持・改善（課題への対応策の検討）
- ・ 図書館研修センターとしての機能強化（研修プログラムの検討）

2 未来を担う子どもの読書活動の推進

- ・ 子どもの読書活動推進センター機能の充実
（プロジェクトチーム体制による関係機関との連携推進〈中央〉）
- ・ 児童サービス職員研修会の開催、運営相談の実施（事業内容の検討）〈中央〉
- ・ 家庭における読書活動の推進（子育て支援情報コーナーの充実〈中央〉）
（読み聞かせボランティア入門講座実施〈中央〉）
- ・ 学校向けの貸出用資料の整備（校長会・教員研修会等でのPR、資料の整備〈中央〉）
（特別支援学校への訪問読書支援〈西部〉）
（管内協力車未巡回高等学校への宅配サービス〈西部〉）

3 県民の役に立つ資料・情報提供サービスの普及

- ・ 課題解決支援サービスの実施及び市町村立図書館への普及
（課題解決支援サービス研修会の開催）
- ・ 高齢者サービスの開発（課題と対応案の検討）
- ・ 障害者サービスの実施及び市町村立図書館への普及
（市町村立図書館や県立学校関連の会議・研修会等でのPR）
（活字資料のテキストデータ化実施〈西部〉）

4 千葉県に関する資料や情報の蓄積、継承

- ・ 千葉県関係資料の網羅的収集整備、保存（次期図書館情報システムの検討〈中央〉）
（チラシ等の作成・配布、研修会の開催と広報〈中央〉）
（県民向け菜の花ライブラリー活用講座実施【新規】〈中央〉）
（東日本大震災及び防災関連資料・情報の収集・提供）
- ・ 千葉県関係の情報検索ツールの充実（千葉日報記事遡及入力実施〈西部〉）

5 社会の変化に対応した図書館サービスの推進

- ・ 電子書籍サービス（館内利用サービスの検証、次期図書館情報システムの検討〈中央〉）
- ・ 図書館の広報戦略の強化（FMラジオ放送への参加〈中央〉）

6 中央図書館の施設整備

- ・ 耐震不足に係る安全対策の実施【新規】
（耐震不足箇所の立ち入り制限及び利用場所の変更）

【業務内容】

1 資料の収集・整理・保管業務

(1) 収集

「千葉県立図書館資料収集方針」等に基づき、県民の調査研究活動の支援及び県内市町村立図書館等読書施設（以下「市町村立図書館等」という。）への協力・援助に資する資料を収集するものとし、特に3館が一体となって県立図書館全体の蔵書構築ができるよう、以下の点に留意し収集に努める。

中央図書館では、千葉県関係資料の網羅的・系統的な収集に努めるほか、官公庁をはじめ、関係機関や県内の諸団体の刊行物、個人の自費出版物等の収集・整備に努める。また、県内における子どもの読書活動推進のセンター館として、児童資料及び児童書研究資料の充実を図るほか、学校支援用の図書を整備する。西部図書館では、自然科学・技術分野の資料を重点的に収集する。東部図書館では、文学・歴史分野の資料を重点的に収集する。

(2) 整理

資料の発注から廃棄までの整理業務は電算システムを活用して行い、装備は、バーコードラベル、背ラベル、不正持出し防止用の磁気テープ、フィルムコーティング等を施し、資料の保全を図る。

(3) 資料整備計画

区 分	中央図書館	西部図書館	東部図書館	合 計
購入図書資料	4,200 冊	2,000 冊	4,130 冊	10,330 冊
寄贈図書資料	4,000 冊	800 冊	570 冊	5,370 冊
逐次刊行物（購入）	153 タイトル	282 タイトル	196 タイトル	631 タイトル

(4) 資料の保管

収集資料を継続的・効率的に維持保存・利用するために、蔵書点検（2月14日～22日）を行う。また、書庫の狭溢化対策として重複資料等の除籍を行う。

(5) 市町村立図書館等除籍資料の保存

県内の最終的な保存図書館として、市町村立図書館等の除籍資料を収集・受入し、整備する。

(6) 東日本大震災及び防災関連資料・情報の収集・提供

県民の課題解決支援の一環として、千葉県における東日本大震災や防災に関連する資料・情報を収集・整理、保存して国立国会図書館と協力し、資料の提供や図書館ホームページによる情報提供に取り組む。

2 利用者サービス業務

(1) 調査相談業務（レファレンスサービス）

ア 調査回答

図書及び新聞・雑誌、マイクロ資料等の所蔵資料、インターネット情報源、商用データベース等を活用し、口頭や電話、メール、文書等による個人や市町村立図書館等からの調査相談に対し、的確に回答する。

イ レファレンス事例の公開

調査回答事例を国立国会図書館レファレンス協同データベースに提供し、県民がホームページで閲覧できるようにする。

ウ 千葉県関係の情報検索ツールの充実

千葉県関係の新聞・雑誌記事等の情報検索ツールを作成し、レファレンスサービスの充実に努めるとともに、資料のマイクロフィルム化及びデジタル化を計画的に進めていく。

エ 研修会の開催〈中央〉

市町村立図書館等職員のレファレンス能力向上を目的にレファレンス研修会を開催する。

オ パスファインダー（調べ方案内）、リンク集の作成

県民ニーズを把握し、県民が関心を持つテーマに関する調べ方を紹介するパスファインダーや、調べ物に役立つリンク集を作成する。また、県民がホームページで閲覧できるようにする。

カ 国立国会図書館の提供する「図書館向けデジタル化資料送信サービス」の利用

「図書館向けデジタル化資料送信サービス」が調査研究に活用されるよう県民への広報を行うとともに、資料の提供、複写サービスを行う。

キ 商用データベースの活用

多くの県民に効率的に活用されるよう操作方法のガイダンスを実施する。

(2) 閲覧業務

ア 資料の館内利用・貸出し

図書及び新聞・雑誌、マイクロ資料等所蔵資料や、県内外の他の公共図書館及び国立国会図書館、大学図書館等からの相互貸借により、資料の提供や貸出し、複写サービスを行う。

イ 各種講座の開催

各種講座を実施し、県民の学習機会の拡充に努める。

ウ 資料の展示

所蔵資料の特長を活かしたテーマを設定し、定期的な資料展示を行うとともに、県民に役立つ企画展示を関係機関との連携を図り開催する。

エ 電子書籍サービス〈中央〉

電子書籍等（デジタルコンテンツ）の閲覧を目的とした、タブレット端末を来館利用者へ館内貸出しする。

オ 職場体験・インターンシップの受入れ〈西部・東部〉

中学生・高校生の職場体験、インターンシップの高校生・大学生を積極的に受け入れる。

(3) 高齢者・障害者サービス

高齢者や障害のある人が健常者と同じように資料の提供が受けられるように各種サービスや研修会を実施し、市町村立図書館への普及を図る。また、先進事例を調査・研究し、サービスの開発に当たる。

ア 録音図書の貸出し・製作

希望する録音図書を所蔵資料だけでなく、全国の点字図書館や公共図書館より借り受けて提供する。また、所蔵していない場合は、自館で製作し貸出しを行う。

イ 対面朗読

図書館音訳者が対面朗読室で、図書館の蔵書や持込みの資料などを朗読する。

ウ 活字資料のテキストデータ化〈西部〉

利用者へ迅速に情報提供できるよう、希望する活字資料をテキストデータ化してパソコン等で音声化するサービスを行う。併せて、作業に従事する図書館音訳者等向けに「障害者のための資料デジタル化講座」を開催する。

エ 録音図書のデジタル化

録音テープのデジタル化を推進し、「視覚障害者情報総合ネットワーク（サピエ）」並びに「国立国会図書館視覚障害者用データ送信サービス」への登録や制作した録音図書の配信等、利用者がインターネットで利用できる環境を整備する。

オ 図書館音訳者の養成

録音図書の製作や対面朗読を行う図書館音訳者を委嘱するとともに、図書館音訳者の技術向上に資するため、図書館音訳者養成講座を開催する。

カ 研修会の開催〈西部〉

市町村立図書館等職員の公共図書館における障害者サービスの向上や、特別支援学校教職員への障害者サービスの啓発を目的に、障害者サービス研修会の開催や学校訪問による読書支援を行う。

キ 読書支援機器活用講座の開催〈中央、西部〉

活字による読書の困難な者とその支援者や市町村立図書館職員、特別支援学校教職員等を対象に、拡大読書器や活字を読み上げる機器、デジタル録音図書の再生機器の説明会並びに活字書籍のテキスト化サービスの体験会等を実施する。

ク サピエ図書館活用講座の開催〈中央〉

インターネットを活用して、録音図書・点字図書オンラインデータベースを体験する。

※「サピエ」とは、視覚障害者を始め目で文字を読むことが困難な方々に対して、さまざまな情報を点字、音声データで提供するネットワーク（当該ホームページから引用）

ケ 高齢者サービスの開発

高齢者サービスの課題を整理し、対応案を検討する。

（４）児童サービス〈中央〉

ア 子どもの読書活動推進センター機能の充実を図るため、館内にプロジェクトチームを設け、教育委員会、図書館、関係機関・団体、関係者等の連携推進を図る。

イ 来館者サービス

資料の貸出し、児童書研究のレファレンスのほか、定例おはなし会や親子で楽しむえほんの会、冬のおはなし会を開催する。また、子育て支援情報コーナーの資料や情報の充実を図る。

ウ 市町村立図書館等や学校図書館への援助

市町村立図書館等や学校図書館への資料の貸出しや調査相談、運営相談を行う。

エ 研修会の開催

「児童サービス基礎研修会」を開催し、市町村立図書館等の児童サービス担当職員の養成に努める。なお、研修内容については、質的充実を図るため、市町村立図書館等のニーズ調査を踏まえて検討する。

オ 読み聞かせボランティアの養成

「読み聞かせボランティア入門講座」を2回開催するとともに、市町村立図書館等や学校図書館が実施する子どもの本の読み聞かせボランティアを養成する講座等に講師として職員を派遣する。

カ 出張おはなし会

博物館等関係機関で開催するイベント等に協力し、職員が出向いて行って、おはなし会や読み聞かせを行う。

キ 障害者用資料の製作

児童資料の点訳絵本等を製作する。

講座等実施事業一覧（研修事業は別掲）

*開催日等は予定

事業名		中央	西部	東部
書庫見学				図書館ナビ
図書館活用講座		毎週金曜日、 毎月第4日曜日 (館内整理日を除く)	ワンポイント図書館活用講座 6月11日(土) 12月3日(土)	毎月第2日曜日 第4土曜日
データベース活用講座		新聞関係 8月 菜の花ライブラリー 12月		
名作映画鑑賞会				
文学講座				奇数月の第3土曜日 (ただし7月は除く)
歴史講座				6月11日(土)
サイエンス・カフェ			8月6日(土) 10月30日(日)	11月5日(土)
課題解決支援	くらしに役立つ法律・判例情報講座	12月上旬		
	まちの保健室		6月11日(土) 9月10日(土) 12月10日(土) 2月11日(土)	
	健康・医療情報講座		6月25日(土)	
	困りごと解決支援講座		12月3日(土)	
	はつらっライフ講座			10月15日(土) 11月12日(土)
	障害者のための資料デジタル化講座		6月1日(水) 6月7日(火) 10月19日(水)	
図書館音訳者養成講座		1月24日(火) 1月31日(火)	7月1日(金) 7月8日(金)	10月25日(火) 11月1日(火) 11月8日(火)

事業名	中央	西部	東 部
読書支援機器 活用講座	7月22日（金） 8月4日（木） 9月6日（火）	1月18日（水）	
サピエ図書館 活用講座	11月24日（木）		
定例おはなし会	毎週土曜日		
親子で楽しむ えほんの会	（奇数月第2金曜日） 7月8日、9月9日、 11月11日、1月13日、 3月10日		
冬のおはなし会	12月18日（日）		
読み聞かせボランティア 入門講座	10月28日（金） 1月26日（木）		
読み聞かせ講座・朗 読講座（さわやかち ば県民プラザ共催事 業）	7月29日（金） 2月3日（金）		

3 協力・援助業務

(1) 図書館協力業務

ア 資料の図書館間貸出し

市町村立図書館等の求めに応じて、資料の図書館間貸出しを行う。

イ 図書館連絡車・協力車巡回

業者委託により県立3館の間で連絡車を巡回させ、県内の全ての市町村立図書館等に対し、週1回定期的に協力車を巡回し、県立図書館及び市町村立図書館等の相互貸借資料を搬送する。

【連絡車・協力車巡回コース】

《県立間連絡車巡回コース》

曜 日	図 書 館 名
火・木曜日	県立中央 → 県立東部 → 県立西部 → 県立中央 → 県立東部

《中央図書館協力車巡回コース》

コース名	Aコース	Bコース	Cコース	来館
曜日	水曜日	木曜日	金曜日	火曜日 金曜日
巡回施設	館山市図書館 南房総市図書館 鴨川市立図書館 勝浦市立図書館 御宿町公民館 いすみ市大原公民館 大多喜町立図書館天賞文庫 睦沢町中央公民館 一宮町まちの図書室	鋸南町立中央公民館 富津市移動図書館 君津市立中央図書館 木更津市立図書館 袖ヶ浦市立中央図書館 市原市立中央図書館 長柄町中央公民館 長南町中央公民館 長生村文化会館 白子町青少年センター 茂原市立図書館	ふれあいプラザさかえ 成田市立図書館 富里市立図書館 八街市立図書館 酒々井町立図書館 佐倉市立佐倉南図書館 千葉県教育振興財団 四街道市立図書館 八千代市立中央図書館 習志野市立大久保図書館 県立保健医療大学 千葉大学附属図書館本館 〃 亥鼻分館	千葉市

《西部図書館協力車巡回コース》

コース名	Aコース	Bコース	Cコース	来館
曜日	水曜日	金曜日	木曜日	金曜日
巡回施設	千葉大学附属図書館松戸分館 松戸市立図書館 県立流山南高校 流山市立中央図書館 県立流山おおたかの森高校 野田市立興風図書館 野田看護専門学校 さわやかちば県民プラザ 県立東葛飾高校	県立我孫子東高校 印西市立大森図書館 白井市立図書館 県立白井高校 船橋市北図書館 鎌ヶ谷市立図書館 県立鎌ヶ谷高校 市川市中央図書館 県立浦安高校	県立松戸高校 〃 松戸馬橋高校 〃 小金高校 〃 流山高校 流通経済大学付属柏高校 柏市立柏高校 県立柏高校 〃 柏中央高校 麗澤中学・高校	松戸市

コース名	Aコース	Bコース	Cコース	来館
曜日	水曜日	金曜日	木曜日	金曜日
	柏市立図書館 我孫子市民図書館 県立沼南高校 〃 沼南高柳高校 〃 松戸六実高校 〃 柏陵高校 〃 松戸国際高校	浦安市立中央図書館 県立浦安南高校 〃 行徳高校 〃 市川南高校	県立柏南高校 芝浦工業大学柏高校 県立船橋北高校 〃 船橋豊富高校 〃 船橋古和釜高校 〃 薬園台高校 〃 船橋芝山高校 〃 船橋啓明高校 〃 船橋法典高校 〃 市川東高校 昭和学院高校 県立市川工業高校 〃 国府台高校 千葉商科大学附属高校 県立松戸向陽高校	

《東部図書館協力車巡回コース》

コース名	Aコース	Bコース	Cコース	来館
曜日	水曜日	木曜日	金曜日	随時
巡回施設	県立八日市場特別支援学校 匝瑳市立八日市場図書館 敬愛大学八日市場高校 県立匝瑳高校 横芝光町立図書館 芝山町中央公民館 多古町立図書館 県立多古高校 神崎ふれあいプラザ 県立佐原白楊高校 香取市立佐原中央図書館 県立佐原高校	県立銚子特別支援学校 銚子市立銚子高校 県立銚子商業高校 〃 銚子高校 千葉科学大学 銚子市公正図書館 東庄町図書館 県立小見川高校 〃 東総工業高校 旭市図書館	九十九里町中央公民館 県立九十九里高校 〃 大網白里特別支援学校 大網白里市図書室 県立東金高校 東金市立東金図書館 城西国際大学 県立成東高校 山武市さんぶの森図書館	県立旭 農業高 校

ウ 協力レファレンス

市町村立図書館等からの所蔵調査・資料調査・事項調査等の調査・相談等に対し、外部データベースや図書館資料を使って援助を行う。

エ 高等学校・特別支援学校・大学及び類縁機関等との連携

県内の高等学校・特別支援学校・大学及び類縁機関等と連携し、資料提供や協力レファレンス、研修等を行う。

資料搬送方法：協力車〈西部・東部〉、宅配便〈中央・西部（協力車未巡回高等学校）〉

オ 担当者会議の開催

市町村立図書館等の相互協力担当職員を対象に、相互協力の円滑な推進を図るための会議を開催する。

(2) 研修事業

市町村立図書館等職員のスキルアップのための研修会を開催する（後掲「研修業務」参照）。

(3) 図書館運営相談

図書館の管理・運営やサービスに関する質問を市町村立図書館等から受け付けている。また、定期的に施設訪問し、図書館運営相談等に応じている。

(4) 図書館未設置市町村援助

図書館未設置市町村の公民館図書室など読書施設に対し、資料の貸出しや協力レファレンス、運営相談等の援助を行う。

(5) 高等学校・特別支援学校向け貸出用資料の整備

学校向けの貸出用セット資料を整備し、校長会、教員研修会等でPRし、利用の促進を図る。

(6) 特別支援学校への訪問による読書支援〈西部〉

希望のある学校に対して、おはなし会や運営相談を実施する。

(7) その他

ア 行政支援

県民生活の維持向上等に係る施策を企画・立案している県庁各課等へ、業務で必要な資料の貸出しや調べものの支援として情報提供サービスを行う。

イ 新聞・雑誌総合目録の整備

市町村立図書館等や文書館行政資料室、県立保健医療大学図書館、さわやかちば県民プラザで所蔵する新聞や雑誌の総合目録を毎年更新してホームページ上で公開する。

ウ 読書活動援助

県内の読書活動を推進するため、読書グループ関係団体への支援協力を行う。また、読書会用テキストとして、同一タイトル10冊をセットにした十冊文庫の整備を進める。

エ 資料の巡回展示〈東部〉

市町村立図書館等と連携し、東部図書館で実施した資料展示の巡回展示を行う。

4 広報・啓発業務

県立図書館の機能・役割を県民に広く周知するために、「要覧」、「千葉文化 千葉県立中央図書館報」、「West Library 千葉県立西部図書館だより」、「知識は旅をする 千葉県立東部図書館だより」、「利用案内」の編集・発行、各種講座等の開催案内チラシの配布・掲示等による広報、ホームページでの情報発信とともに、次の事業を行う。

(1) 読書週間関連事業

ア 読書普及のための資料展示

イ 図書リスト、パスファインダー（調べ方案内）の作成・配布

ウ 千葉県読書推進運動協議会主催の読書週間記念講演会への協力

(2) こども読書週間関連事業

- ア 子ども読書の日記念展示会の開催
- イ 子ども読書の日おはなし会の開催〈中央〉

(3) その他

- ア 県立図書館ホームページの充実
- イ 企画展示の開催
- ウ 千葉県資料の県民向け広報の実施〈中央〉
- エ FMラジオ放送への出演や広報誌等による所蔵資料・事業内容紹介〈中央〉

5 研修業務

市町村立図書館等職員の資質向上を図るため各種研修会を実施し、市町村立図書館等への援助機能の充実に努める。

【中央図書館】

*開催日等は予定

事業名	開催日	会場	参加予定数
公共図書館新任職員研修会	5月11日(水)	中央博物館講堂	70人
公共図書館中堅職員研修会	10月12日(水)	美術館研修室	40人
図書館長研究協議会	1月	八千代市立中央図書館	50人
児童サービス基礎研修会 第1回	6月16日(木)	美術館研修室	40人
第2回	6月23日(木)	〃	40人
第3回	7月7日(木)	〃	40人
第4回、第5回	10月20日(木)	〃	40人
地域行政資料研修会 第1回	10月7日(金)	東部図書館研修室	25人
第2回	11月9日(水)	中央博物館研修室	40人
レファレンス研修会 (レファレンスサービス基礎研修)	6月2日(木)	総合教育センター	40人
レファレンス研修会 (レファレンスサービス専門研修)	11月11日(金)	西部図書館研修室	30人
課題解決支援サービス研修会	1月	未定	20人
図書館音訳者養成講座	1月24日(火) 1月31日(火)	中央図書館会議室 〃	15人
読書支援機器活用講座	7月22日(金) 8月4日(木) 9月6日(火)	〃 〃 〃	10人
サピエ図書館活用講座	11月24日(木)	〃	10人

【西部図書館】

*開催日等は予定

事業名	開催日	会場	参加予定数
公共図書館新任職員研修会	5月18日(水)	西部図書館研修室	20人
障害者サービス研修会	6月17日(金)	〃	35人
	11月18日(金)	〃	30人
課題解決支援サービス研修会	7月13日(水)	〃	30人
	9月7日(水)	〃	30人
図書館音訳者養成講座(中級)	7月1日(金)	〃	30人
	7月8日(金)	〃	30人
読書支援機器活用講座	1月18日(水)	〃	20人

【東部図書館】

*開催日等は予定

事業名	開催日	会場	参加予定数
公共図書館新任職員研修会	5月19日(木)	東部図書館研修室	10人
課題解決支援サービス研修会	未定	東部図書館研修室	30人
千葉経済大学短期大学部と千葉県立東部図書館との連携研修会	未定	東部図書館管内の読書施設	20人
学校図書館運営研修会	8月10日(水)	東部図書館研修室	15人
図書館音訳者養成講座	10月25日(火)	東部図書館研修室	40人
	11月1日(火)		
	11月8日(火)		

6 電算業務

(1) 業務系システム

平成24年11月にシステムを一新し、機能を充実させた「千葉県立図書館情報システム」を維持しながら、更に充実するよう検討していく。また、次期システム導入に向けた検討を進める。

(2) インターネット系システム

「千葉県立図書館ホームページ」(<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>)については、更に利用しやすく、利便性が高まるよう検討、整備していく。

Ⅱ 平成27年度事業報告

【概 況】

県立図書館は運営方針に基づき、3館の密接な連携により、市町村立図書館等への援助、県内の中核的調査研究図書館としての情報・資料の提供、図書館未設置市町村の読書施設に対する資料援助や運営相談及び職員研修、高等学校・大学及び類縁機関等との連携など幅広い図書館活動を行った。「第2期千葉県教育振興基本計画」や「千葉県子どもの読書活動推進計画（第三次）」に基づき、教育委員会、図書館、関係機関・団体、関係者等の連携の拠点（センター）として子どもの読書活動の推進を図ることを目的に、館内職員のプロジェクトチームによる「子どもの読書活動推進センター」を設置した。

また、県指導課から送付された小・中・高等学校用教科書見本を3館で閲覧できるようにした。

中央図書館では、企画展示「教えて！図鑑さん！～調べてよし見てよし読んでよし～」を実施するとともに、県立中央博物館と連携した関連講座並びに近隣中学校2校の1年生を招いた校外学習支援セミナーを開催した。

西部図書館では、自然科学や先端技術を気軽に学べるサイエンス・カフェ（「身近な生きものの名前を調べよう～あなたの知らない図鑑の世界～」（県立中央博物館連携）と「最先端ネットワークのかたち～知ってトクするネットのからくり～」（県立現代産業科学館連携）の計2回）を開催した。

東部図書館では、文学講座「刊行100年『大日本国語辞典』を作った男 松井簡治－銚子が生んだ国文学者、その生涯－」と、歴史講座「妖怪と出会う夏－千葉の妖怪・江戸の妖怪－」（県立中央博物館連携）を開催した。

図書館事業概要

項目			館名	中央図書館	西部図書館	東部図書館	合 計
資料整備	資料総数	受入冊数		9,301 冊	3,964 冊	5,222 冊	18,487 冊
		(内購入冊数)		(4,475 冊)	(2,577 冊)	(4,457 冊)	(11,509 冊)
		購 入 費		20,000 千円	14,000 千円	19,095 千円	53,095 千円
	蔵書数			862,933 冊	269,012 冊	271,673 冊	1,403,618 冊
	新聞・雑誌・法規集			77紙・3,658誌・3種	36紙・505誌・0種	22紙・258誌・0種	135紙・4,421誌・3種
サービス業務	利用状況	入館者数		98,312 人	189,574 人	163,539 人	451,425 人
		登録者数		15,250 人	16,750 人	9,721 人	41,721 人
		個人貸出		61,119 冊	60,070 冊	46,478 冊	167,667 冊
	資料複製サービス			135,306 枚	51,961 枚	9,871 枚	197,138 枚
	参考調査 照会・質問			19,705 件	9,090 件	8,738 件	37,533 件
協力業務	県立図書館蔵書貸出冊数			45,562 冊	17,732 冊	43,728 冊	107,022 冊
	市町村立図書館等蔵書の相互貸借冊数			46,948 冊	36,699 冊	14,859 冊	98,506 冊
管内人口(平成28年4月1日)				6,229,358 人			

《備考》 蔵書数にはマイクロ資料、視聴覚資料を含む。

【業務内容】

1 資料の収集・整理・保管業務

(1) 県立全館の資料整備

県民の調査研究活動を支援し、市町村立図書館等及び高等学校等への協力・援助を行うため、3館が連携・分担して収集、整備した。

資料整備実績

区 分	中央図書館	西部図書館	東部図書館	合 計
購入図書資料	4,475 冊	2,577 冊	4,457 冊	11,509 冊
寄贈図書資料	4,826 冊	1,387 冊	765 冊	6,978 冊
千葉県関係資料	1,981 冊	587 冊	396 冊	2,964 冊
逐次刊行物（購入）	146 タイトル	289 タイトル	192 タイトル	627 タイトル

（２）資料の保管

収集資料を継続的・効率的に維持保存・利用するため、蔵書点検（２月１６日～２月２４日）を行った。

（３）市町村立図書館等除籍資料の保存

県内の最終的な保存図書館として、市町村立図書館除籍資料を収集した。

区 分	中央図書館	西部図書館	東部図書館	合 計
図 書	16 冊	0 冊	77 冊	93 冊
雑 誌	35 冊	208 冊	0 冊	243 冊

（４）東日本大震災及び防災関連資料・情報の収集・提供

国立国会図書館と連携し、千葉県における東日本大震災や防災に関する資料・情報の収集・保存等の取組を強化するため、チラシ等により県民に寄贈を呼びかけるとともに、図書館ホームページに東日本大震災千葉県関連サイトを新設し、情報提供に努めた。

２ 利用者サービス業務

（１）調査相談業務（レファレンスサービス）

図書及び新聞・雑誌、マイクロ資料等の所蔵資料だけでなく外部データベース等を活用し、口頭や電話、メール、文書等による個人や県内図書館等からの調査・相談に応じた。

また、国立国会図書館レファレンス協同データベースへの調査回答事例の提供や、千葉県歴史関係雑誌記事索引等の千葉県関係データベースの作成並びにパスファインダーの作成により調査支援ツールの充実に努めた。

中央図書館では、平成２３年度に設置した「くらしに役立つ法律・判例情報コーナー」に法律・判例関係資料の充実、関連情報の提供に努めるとともに、県民向けの課題解決支援講座「くらしに役立つ法律・判例情報講座（２回）」を開催した。

西部図書館では、平成２５年度に設置した「医療・健康情報コーナー」での医療・健康関係資料の充実、関連情報の提供に努めるとともに、県民向けの課題解決支援講座「健康・医療情報講座」を開催した。また、千葉県看護協会看護職による「まちの保健室」事業を実施した。

東部図書館では、引き続きシニアの暮らしに役立つ資料の充実、関連情報の提供に努めるとともに、県民向けの課題解決支援講座「はつらっライフ講座」を開催した。

＜調べ方案内（パスファインダー） 平成２７年度作成・改訂一覧＞

テ ー マ	作 成 館
雑誌記事・論文を探す（改訂）	中 央 図 書 館
官報を調べる	〃
千葉県の「自然災害」について（改訂）	〃
初心者のための法令の調べ方（改訂）	〃
千葉県の新聞記事を探す（改訂）	〃
教科書の調べ方（改訂）	〃

テ ー マ	作 成 館
児童書の作家・画家について調べる	中 央 図 書 館
発達障害について調べる	西 部 図 書 館
医療情報について調べる（改訂）	〃
防災 地震から身を守る（改訂）	〃
回想法について調べる	〃
マレーシアについて調べる	東 部 図 書 館

<課題解決支援講座【3館】（一般向け）>

事業名	実施日等	実 施 状 況	参加人数
【中央図書館】 くらしに役立つ法律・ 判例情報講座	7月5日（日） 午前 午後	「法律に親しむデータベース活用法」 「くらしに役立つ成年後見」 講師 千葉県弁護士会所属 法テラス千葉法律事務所スタッフ 弁護士 加藤梓氏、國松里美氏	11人 31人
【中央図書館】 データベース活用講座	8月22日（土）	「ヨミダス歴史館の効率的な利用方法」 講師 読売新聞東京本社 メディアデータベース部 田中光輔氏	12人
【西部図書館】 自然科学講座	10月17日（土）	「日本の火山活動の特徴」 講師 千葉県立中央博物館 主任上席研究員 高橋直樹氏	33人
【西部図書館】 健康・医療情報講座	11月28日（土）	「50歳を超えたら要注意！増えている前立腺がん」 講師 帝京大学医学部附属病院 泌尿器科准教授 井手久満氏 〔ワンポイント図書館活用講座を併催〕	30人
【西部図書館】 生涯現役実現セミナー	12月4日（金）	「50代以降の仕事と暮らしを考える！」 講師 一般社団法人中高年齢者雇用福祉協会 キャリアコンサルタント 島久雄氏 ファイナンシャルプランナー 内山純男氏	30人
【西部図書館】 困りごと解決支援講座	1月31日（日）	「エンディング・ノートの書き方～人生のエンディングに向けて～」 講師 千葉県金融広報委員会 金融広報アドバイザー 黒田千鶴子氏 〔ワンポイント図書館活用講座を併催〕	35人
【東部図書館】 はつらっライフ講座	10月10日（土）	「物忘れと認知症」 講師 国保旭中央病院医師 大塚祐司氏	41人
【東部図書館】 地域づくり支援講座	1月30日（土）	「人も発酵する町、発酵の里こうざき」 講師 神崎町まちづくり課 澤田聡美氏	30人

(2) 閲覧業務

【中央図書館】

県民の読書活動の推進や課題解決を支援するため各種事業を実施するとともに、出版放送関係への情報提供としてNHK - FM放送番組に職員が出演し、本の紹介をした。

<平成27年度実施事業>

事業名	実施日等	実施状況	参加人数
定例おはなし会	毎週土曜日 午後	全50回 語り手 当館職員	延べ161人
図書館活用ミニ講座	毎週金曜日	全1回 講師 当館職員	延べ 1人
書庫見学会	第2金曜日 第4日曜日	全8回	延べ 10人
親子で楽しむえほんの会	隔月開催	7月10日(金)<1回>、9月11日(金)<2回> 11月13日(金)<2回>、1月8日(金)<1回> 3月11日(金)<1回> 語り手 当館職員	延べ 40人
読み聞かせボランティア入門講座 (子どもの本の読み聞かせ講座)	5月1日(金)	「絵本の読み聞かせー選び方と読み方の実践ー」 講師 にんじん文庫・主宰 入交静氏	52人
	1月22日(金)	会場 長柄町公民館 講師 ゆか下文庫・主宰 小谷孝子氏 ゆか下文庫 東ひろみ氏	45人
アドベンチャーライブラリー	6月14日(日)	<2回> 書庫見学、古い新聞閲覧体験	14人
読み聞かせ・朗読講座	7月24日(金)	講師 当館職員 [さわやかちば県民プラザ共催]	40人
読み聞かせ講座 (県民向け)	2月5日(金)	講師 当館職員 [さわやかちば県民プラザ共催]	43人
冬のおはなし会	12月20日(日)	語り手 当館職員	22人
くらしに役立つ法律・判例情報講座		前掲 (P15)	
データベース活用講座		前掲 (P15)	
読書支援機器活用講座	7月31日(金)	第1回 音声読書機器活用講座 講師 (株)アメディア 望月優氏	21人
	8月21日(金)	第2回 拡大読書機器活用講座 講師 ロービジョンケア 森田茂樹氏	20人
サピエ図書館活用講座	11月10日(火)	「サピエ図書館」の活用方法 講師 (株)ラビット 荒川明宏氏	20人
電子書籍活用講座	2月12日(金)	「ICTを活用して広がる、高齢者・弱視者にとって利用しやすい読書環境づくり」 講師 (有)読書工房 成松一郎氏	22人
図書館音訳者養成講座	1月26日(火) 2月9日(火)	「漫画や地図、地形を言葉にして表現する」 講師 NPO法人点訳・音声訳集団 一歩の会 高橋久美子氏	35人
視覚障害サービス担当者研修会	12月10日(木)	「障害者への合理的配慮と図書館のサービス」 講師 埼玉県立久喜図書館 佐藤聖一氏 [視覚障害者総合支援センターちばとの共催]	37人

出版放送関係への情報提供

番組名	内 容
NHK FM放送番組 「ひるどき情報ちば」内 「おすすめブック」出演	毎月第3木曜日、NHK千葉放送局FM放送「ひるどき情報ちば」にて、中央図書館職員が県民の方々に読んで欲しい一般書や児童書を11回にわたり紹介した。

【西部図書館】

県民生活上の課題解決を支援するための講座として、一般社団法人中高年齢者雇用福祉協会の協力による「生涯現役実現セミナー」を開催するとともに、「困りごと解決支援講座」、「健康・医療情報講座」を開催した。また、当館の特色（自然科学・工学）を生かした「サイエンス・カフェ」を開催した。

障害者サービスについては、「図書館音訳者養成講座(中級)」、「障害者のための資料デジタル化講座」、「障害者のための読書支援機器活用講座」等開催したほか、読書相談など幅広い情報提供に努めた。

<平成27年度実施事業>

事業名	実施日等	実施状況	参加人数
障害者のための資料デジタル化講座 全3回	6月3日(水) 6月17日(水) 6月23日(火)	第1回 講師 全国音訳ボランティアネットワーク 吉岡眞喜子氏 第2回 講師 全国音訳ボランティアネットワーク 古屋裕子氏 第3回 講師 千葉点字図書館音訳協力員 松本道子氏	延べ43人
サイエンス・カフェ 全2回	8月8日(土) 10月31日(土)	「身近な生きものの名前を調べよう～あなたの知らない図鑑の世界～」 講師 千葉県立中央博物館 斎木健一氏 「最先端ネットワークのかたち～知ってトクするネットのからくり～」 講師 千葉県立現代産業科学館 鈴木淳一氏	28人 23人
まちの保健室	6月13日(土) 9月12日(土) 12月12日(土) 2月13日(土)	全4回 千葉県看護協会看護職による健康相談	延べ 21人
自然科学講座		前掲 (P15)	
障害者のための資料デジタル化講座(中級)	10月23日(金)	「マルチメディアDAISY及びテキストDAISYの製作の現状と今後の展望」 講師 日本点字図書館 澤村潤一郎氏 「マルチメディアDAISY編集ソフトの現状と展望」 講師 シナノケンシ株式会社 柳澤健氏 「テキストデータから合成音声でDAISY図書を作るツールについて」 講師 (株)東芝デザインセンター 黒田由加氏	27人
図書館音訳者養成講座(中級)	11月25日(水) 12月2日(水)	第1回 講演「音訳に適した呼気の使い方、発声について」 第2回 実習「音訳に適した発音・発語のポイント」 各回講師 言語聴覚士 村上由美氏	延べ 38人
健康・医療情報講座		前掲 (P15) [ワンポイント図書館活用講座を併催]	
生涯現役実現セミナー		前掲 (P15)	
障害者のための読書支援機器活用講座	1月20日(水)	「拡大表示、音声読み上げに対応したタブレット型端末の紹介と体験」 講師 株式会社 Studio Gift Hands 代表取締役 三宅琢氏	29人
困りごと解決支援講座		前掲 (P15) [ワンポイント図書館活用講座を併催]	

【東部図書館】

県民の読書活動推進のため「文学講座」「歴史講座」「名作映画鑑賞会」を開催するとともに県民生活上の課題解決を支援するために「地域づくり支援講座」「はつらっライフ講座」を開催した。また、図書館利用の拡充を図るために、図書館見学と検索研修を行う「図書館ナビ」を実施した。障害者サービスについては、音訳者の録音図書作成技術の向上を図るために「図書館音訳者養成講座」を開催した。

<平成27年度実施事業>

事業名	実施日等	実 施 状 況	参加人数
図書館音訳者養成講座 全2回	10月14日(水) 11月11日(水)	「読むためのヴォイス・トレーニング」 講師 フリー・アナウンサー 高山久美子氏	12人
文学講座	6月13日(土)	「刊行100年『大日本国語辞典』を作った男 松井簡治―銚子が生んだ国文学者、その生涯―」 講師 松井簡治資料刊行会 副会長 越川行雄氏	45人
歴史講座	9月5日(土)	「妖怪と出会う夏 ―千葉の妖怪・江戸の妖怪―」 講師 千葉県立中央博物館 内田龍哉氏	40人
名作映画鑑賞会 奇数月の第3土曜日 (7月を除く)	5月16日(土) 9月19日(土) 11月21日(土) 1月16日(土) 3月19日(土)	・「植村直己物語」佐藤純彌監督 1986年 ・「幽霊西へ行く」ルネ・クレール監督 1935年 ・「沈黙の春を生きて」坂田雅子監督 2011年 ・「野ばら」マックス・ノイフェルト監督 1957年 ・「アパッチ砦」ジョン・フォード監督 1948年	延べ110人
図書館ナビ	第2土曜、 第4日曜	全9回 検索研修又はデータベース講座と書庫見学	延べ 19人
はつらっライフ講座		前掲 (P15)	
地域づくり支援講座		前掲 (P15)	
児童図書等の展示 (東総文化会館協力事業)	7月4日(土) 2月21日(日)	・子ども文化芸術体験 ・ファミリーコンサート	

3 協力・援助業務

「読書県ちば」を目指し、市町村立図書館及び図書館未設置市町村公民館図書室等に対して、相互貸借資料の搬送や運営相談、協力レファレンス等の援助を行った。また、高等学校・大学及び類縁機関等と連携し、読書活動の充実に努めた。

【県立図書館 3 館】

- ア 市町村立図書館及び図書館未設置市町村公民館図書室等の求めに応じて、資料の図書館間貸出しを行った。県立 3 図書館間、県立図書館及び市町村立図書館等間に連絡車・協力車を定期的に巡回、相互貸借資料を搬送した。
- イ 学校等における子どもの読書活動を推進するため、学校支援セットを中心に県内の高等学校及び特別支援学校図書館へ資料の貸出しを行った。
- ウ 行政支援として、県民生活の維持向上などに係る施策を企画・立案している県庁各課へ、業務で必要な資料貸出しやレファレンス等の情報提供サービスを行った。(貸出冊数：977冊)
- エ 相互協力ニュース（県立図書館ホームページ→図書館員のページ）を発行した。(6回)

【中央図書館】

- ア エリア内図書館・読書施設等に対する支援
 - ・市町村立図書館相互協力担当者会議 4月24日(金) 43人出席
 - ・運営相談の実施(電話やメールでの相談/61回・全市町村への訪問による相談/年2回)
- イ 高等学校への資料提供
「高等学校・特別支援学校用セット」の整備。
(新規5セット、改訂31セット 201冊整備。
総セット数 107セット、総冊数2,430冊)※27年度整備中
宅配便による資料搬送(登録校 59校)
県立図書館の学校支援事業を周知し、活用を促すために、様々な機会を捉えて事業説明を行った。(校長会議、教頭会議、学校図書館担当者会議、県総合教育センター経験者研修、等)
- ウ 高等学校への講師派遣
保育等への進路を希望する生徒や図書委員会活動への支援のため、高等学校等へ絵本の読み聞かせについての講師としての職員を派遣した。
(延べ10校 派遣先：市原南高、市原高、柏井高、犢橋高、関宿高(2回)、千葉女子高、津田沼高、四街道高、千葉県高等学校教育研究会図書館部会第6地区司書の会：(会場)鎌ヶ谷西高校)
- エ 千葉県読書グループ連絡会への協力
県内の読書活動を推進するため、千葉県読書グループ連絡会に協力して、千葉県読書グループ研修会の開催を支援した。また、読書会用のテキストとして十冊文庫を整備した。(整備数13タイトル、総タイトル数640)

【西部図書館】

- ア 市立図書館等に対する支援
 - ・管内市立図書館相互協力担当者会議の開催 6月11日(木) 25名出席
 - ・運営相談の実施(図書館運営相談訪問：各館へ年間2回ずつ)
- イ 高等学校等支援
 - ・協力車巡回による資料搬送
 - ・運営相談の実施(前期3校・後期9校)
 - ・宅配便開始(7月より・管内協力車未巡回校対象)
 - ・レファレンス対応
- ウ 特別支援学校(西部管内)への訪問読書支援
希望調査を行い、希望校中7校へ訪問
訪問読書支援の際には高校宅配便の紹介をするとともに運営相談を行った。
- エ 新聞雑誌総合目録データ
千葉県公共図書館協会加盟館及び千葉県文書館、千葉県立保健医療大学、さわやかちば県民プラザの新聞・雑誌所蔵データを、県立図書館ホームページで公開した。

【東部図書館】

- ア 市町村立図書館及び未設置町公民館図書室等に対する支援
 - ・市町村図書館相互協力担当者会議 5月29日(金) 19人出席
 - ・図書館及び公民館図書室等に対し延べ58回の運営相談を実施した。
 - ・東部図書館で資料展示や資料紹介を行った資料を、希望する図書館及び公民館図書室等に一括して貸出し、同じテーマで資料展示をしてもらう巡回展示を27回実施した。
- イ 高等学校等支援
 - ・東総地区高等学校図書委員連絡協議会の総会において、高校支援の内容説明をした。また、研修会における講師選定、依頼に関する相談に応じた。
 - ・運営相談の実施
東部図書館奉仕対象地域内の高校20校及び特別支援学校6校、大学2校に対し、延べ61回の運営相談を実施した。

4 広報・啓発業務

県民に広く周知するために、各館展示コーナー等を利用した資料展示を行った。
中央図書館では、企画展示「教えて図鑑さん！～調べてよし、見てよし、読んでよし～」を平成27年12月19日（土）から平成28年2月14日（日）まで開催した。
また、千葉県主催（防災政策課）「東日本大震災の写真・映像展」3月14日（月）～3月18日（金）（千葉市きぼーる）に事業のPRパネルを協力展示した。

資料展示（展示コーナー等による資料の紹介）

【中央図書館】

展示場所	展 示 名	期 間
正面玄関 及び館内	企画展示 教えて図鑑さん！～調べてよし、見てよし、 読んでよし～	12月19日（土）～2月14日（日）
	関連行事 講演会「近代動植物図鑑の歴史」 講師 千葉県立中央博物館 斎木健一氏	1月16日（土）
正面玄関 及び館内	モノの文化史 ～その発祥から伝播、受容まで～	5月16日（土）～8月14日（金）
	ユニークな学問	8月15日（土）～10月15日（木）
	古典復興 ～連綿と受け継がれてきた文学・ 工芸・芸能の数々～	10月17日（土）～12月17日（木）
	描かれた動植物、記された動植物	2月25日（木）～5月8日（日）
千葉県資料室	水運と産業～水豊かな房総の地に～	5月16日（土）～7月31日（木）
	戦後70年を千葉で向き合う	8月1日（土）～9月30日（水）
	千葉県の地震災害	10月17日（土）～12月17日（木）
	東日本大震災から5年	2月25日（木）～3月24日（木）
	房総つれづれ散歩 いまむかし	3月26日（土）～5月8日（日）
児童資料室	子ども読書の日・こどもの読書週間展示 パパ、絵本読んで！	4月18日（土）～5月17日（日）

【西部図書館】

展示場所	展 示 名	期 間
正面玄関 及び館内	英語で読む子どもの文学	4月18日（金）～7月5日（日）
	雑誌「みすず」読書アンケート特集	5月16日（土）～6月18日（木）
	「発達障害について調べる」	6月27日（土）～7月24日（金）
	あなたの知らない図鑑の世界	7月25日（土）～10月15日（木）
	科学者と戦争	8月15日（土）～8月30日（日）
	災害大国に生きる	8月29日（土）～10月4日（日）
	最先端ネットワークのかたち	10月17日（土）～12月17日（木）
	食事と健康	12月19日（土）～2月14日（日）
	シニアはつらっライフ	1月31日（日）～2月14日（日）
	日本のモノづくり	2月25日（日）～4月14日（日）
	東日本大震災関連ミニ展示「3.11と〇〇」	3月1日（火）～3月31日（木）

【東部図書館】

展示場所	展 示 名	期 間
展示 コーナー	「大日本国語辞典」を作った男 松井簡治 （文学講座関連展示）	4月28日（火）～7月20日（月）
	妖怪と出会う夏～千葉の妖怪・江戸の妖怪～ （歴史講座関連展示）	7月22日（水）～10月15日（木）
	江戸へようこそ	10月17日（土）～12月17日（木）
	高橋順子・車谷長吉作品展	12月19日（土）～3月13日（日）
	あの日から5年	3月15日（火）～4月22日（金）
資料紹介 コーナー	子どもの詩と読書	4月18日（土）～6月18日（木）
	戦後70年～あの戦争をふりかえる～	6月20日（土）～8月20日（木）
	妖怪大集合	8月22日（土）～10月15日（木）
	江戸時代にタイムスリップ	10月17日（土）～12月17日（木）
	最近の文学賞受賞作品（2010～2015）	12月19日（土）～2月14日（日）
	防災・震災～大切な命を守るために～	2月25日（木）～4月14日（木）

5 研修業務

市町村立図書館職員等の資質向上を図るため各種の研修会を実施し、市町村立図書館等への援助機能の充実に努めた。また、課題解決支援サービスの一環として県立図書館主催の図書館職員向けの研修「課題解決支援サービス研修会」も実施した。

さらなる有益な研修プログラム開発のため、県内市町村立図書館及び読書施設等へのアンケートを実施し、研修内容や開催方法についての要望等を調査した。

運営支援の一環として、全ての県内図書館等読書施設の職員が、図書館サービス向上のための研修を受けられるよう、千葉県公共図書館協会と連携した研修プログラムの開発を行う。

【中央図書館】

事業名	実施日等	実施状況	参加人数
公共図書館新任職員研修会	5月13日(水)	「公共図書館の役割、利用サービス、障害者サービス、レファレンスサービス、児童サービス及び相互協力業務等」講師 当館職員	68人
公共図書館中堅職員研修会	10月7日(水)	「図書館における法教育～図書館法を読み解く・法律専門家との連携」 講師 東京都行政書士会 法教育推進特別委員会 委員長 山賀良彦氏	27人
図書館長研究協議会	3月17日(水)	「図書館における合理的配慮を考える」 講師 専修大学文学部 教授 野口武悟氏	40人
児童サービス基礎研修会 全5回	6月18日(木)	第1回 「児童奉仕概論」 講師 佐倉市立志津図書館 小廣早苗氏	46人
	6月25日(木)	第2回 「絵本・物語について」 講師 千葉市稲毛図書館 岩野桂子氏	43人
	7月9日(木)	第3回 「おはなし会の運営について」 「絵本の読み聞かせ演習」 講師 当館職員	43人
		講師 市川市中央図書館 高柳公香氏	
	10月8日(木) 午前	第4回 「レファレンスについて」 講師 当館職員	40人
	10月8日(木) 午後	第5回 「石井桃子の翻訳はなぜ子どもをひきつけるのか―声を訳す文体の秘密」 講師 フェリス女学院大学 非常勤講師 竹内美紀氏	68人
地域行政資料研修会	7月17日(金)	「地域行政資料の探し方入門」 講師 当館職員 「地域行政資料の探し方 ひとり一問一答」 講師 当館職員	23人
レファレンス研修会 (レファレンスサービス基礎研修)	6月19日(金)	「レファレンスサービス実践の基礎」 「インターネットを活用した調べ方」 「クイックレファレンス演習・基本参考図書解題」 各講師 当館職員	55人
レファレンス研修会 (レファレンスサービス専門研修)	10月30日(金)	講演「明日から実践できるビジネス支援サービス入門」 講師 東京都立中央図書館 係長 余野桃子氏	28人

事業名	実施日等	実 施 状 況	参加人数
課題解決支援サービス研修会	10月21日(水)	「千葉県地震災害」 講師 郷土史家 古山豊氏	31人 (うち一般参加12人)
図書館音訳者養成講座 全2回		前掲 (P16)	
読書支援機器活用講座 全2回		前掲 (P16)	
サピエ図書館活用講座		前掲 (P16)	
電子書籍活用講座		前掲 (P16)	

【西部図書館】

事業名	実施日等	実 施 状 況	参加人数
公共図書館新任職員研修会	5月27日(水)	「公共図書館の役割、利用サービス、レファレンスサービス、児童サービス及び相互協力業務等」講師：当館職員	21人
障害者サービス研修会 全2回	6月26日(金)	第1回 講演「公共図書館における発達障害者への対応」 講師 千葉県発達障害者支援センター CAS東葛飾 奥山高光氏	29人
	11月27日(金)	第2回 講演「知的に障害のある人の求める読書 LLブックやマルチメディアDAISY図書などを活用した読書支援」 講師 大和大学教授 藤澤和子氏	22人
課題解決支援サービス研修会 全2回	9月16日(金)	第1回 講演「課題解決のための図書館コレクション」 講師 前塩尻市立図書館長、 常磐大学非常勤講師 内野安彦氏	34人
	10月9日(金)	第2回 講義「図書館資料の保存」 実習「図書館資料の簡易な補修」 講師 国立国会図書館 尾崎広志氏	20人
図書館音訳者養成講座 (中級) 全2回		前掲 (P17)	
障害者のための読書支援機器活用講座		前掲 (P17)	

【東部図書館】

事業名	実施日等	実 施 状 況	参加人数
公共図書館新任職員研修会	5月22日(金)	「公共図書館の役割、利用サービス、レファレンスサービス、児童サービス及び相互協力業務等」講師 中央図書館職員及び当館職員	19人
学校図書館運営研修会	8月19日(水)	「授業のための情報検索」講師 当館職員	11人
図書館音訳者養成講座 全2回		前掲(P18)	
課題解決支援サービス研修会	10月28日(水)	「小さな街の図書館でできること」講師 潮来市立図書館 館長 船見康之氏	24人
千葉経済大学短期大学部との連携研修会	2月26日(金)	「レファレンス・インタビューの基礎と参考図書を活用した即戦力演習」講師 千葉経済大学短期大学部 教授 齊藤誠一氏	26人

6 電算業務

(1) 業務系システム

県立図書館の電算システムは、昭和59年度から開発した独自システムを西部図書館開館時(昭和62年)に導入したのが最初である。平成8年度には同システムの改良版を中央図書館に、また、平成10年度に開館した東部図書館にも導入することにより、3館独自の電算システム運用体制が整備された。その後、平成19年2月1日から、3館のシステムを統合した「千葉県立図書館統合電算システム」に移行し、中央図書館が管理・運用を行っていたが、平成24年11月、電算システムを一新(契約：NECキャピタルソリューション 開発：日本電気株式会社)し、更に機能を充実させた「千葉県立図書館情報システム」を導入している。

電算システムの概要

館 名	現行システム（平成24年11月 更新）				電算システムの 導入時期	
	機 器 名		基本ソフト名	端 末 機 器		
				業務用		利用者用
中 央	日 本 電 気 (株)	Express 5800 (※ 1)	LiCS-Web II	43	29	平成 8 年
西 部				30	25	昭和62年
東 部				28	24	平成 8 年（※ 2）

(※1) 本体は外部に設置している

(※2) 東部図書館は開館準備時から導入

(2) インターネット系システム

平成13年4月1日から導入した図書館ホームページは、平成24年11月、図書館電算システム一新に併せて、次の機能を追加・充実させた。

(ホームページへのアクセス件数 359,098件)

ア 県と市町村等の図書館の蔵書が同時に検索できる「千葉県内図書館横断検索システム」の対象施設の追加。

イ 図書館の所蔵資料以外にも千葉県立図書館の千葉県関係データベース「菜の花ライブラリー(5コンテンツ)」や国立情報学研究所の雑誌記事索引、出版情報等も検索対象に追加。

ウ 利用者が借用・予約・メール状況を確認できる専用情報「マイライブラリー」の新設。

エ ホームページからの貸出期間の延長受付。

オ その他、新着雑誌記事速報、千葉県地勢・地形図検索などの新設。

《横断検索参加自治体及び施設一覧》

(平成28年3月末現在)

自治体 (34市2町1村)	[中央エリア] 千葉市、市原市、習志野市、八千代市、佐倉市、成田市、四街道市、八街市、富里市、茂原市、館山市、鴨川市、南房総市、木更津市、君津市、袖ヶ浦市、酒々井町、長生村
	[西部エリア] 市川市、船橋市、浦安市、松戸市、柏市、野田市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市、印西市、白井市
	[東部エリア] 銚子市、香取市、匝瑳市、旭市、東金市、山武市、大網白里市、横芝光町
大学(4)	千葉大学附属図書館、千葉科学大学図書館、城西国際大学水田記念図書館、放送大学附属図書館
専門(2)	アジア経済研究所図書館、財団法人成田山仏教図書館
県縁施設(3)	千葉県文書館、千葉県総合教育センター、千葉県立博物館
その他(4)	国立国会図書館、国立情報学研究所、科学技術振興機構、日本書籍出版協会